

平成23年度 アクションプログラムの取組事例

No. 1

取組名	間伐材の利用促進に向けた見学会の実施
流域名	上川北部
森林管理署等	上川北部森林管理署
実施日	平成23年10月28日
実施内容	<p>国有林では、人工林の間伐が必要な時期を迎えていることから、間伐作業の推進に努めるとともに、生産された間伐材の利用促進を図る目的で、治山・森林土木工事等に使用する間伐材の利用にも努めています。</p> <p>平成23年10月28日に上川北部流域森林・林業活性化協議会と共催し、中川町「誉国有林」内の治山工事箇所、自治体や林業関係者約60名が参加した中で、間伐材で建設した治山ダムの見学会を行い、間伐材利用事例のPRを行いました。</p> <p>この治山ダムは、トドマツの間伐材744本を校倉式で組み立て、隙間に石を詰めた幅17.5m、高さ3.6mの構造で、使用する木材は工場での腐植防止加工を行い、30～50年の耐用年数が見込め景観にも優れています。</p>
反響等	<p>地元新聞社等報道機関への情報提供により、取組内容が記事として掲載され、引き続き、間伐材の利用促進に向けた取り組みを行います。</p>

参考資料

間伐材を利用した治山ダム見学会（平成23年10月28日）

